

学習者用デジタル教科書を使った 国際教室での効果的な学習



横浜市教育委員会事務局

小中学校企画課

指導主事 横溝 亮

今学校現場では・・・

一人一台端末、様々な教科・活動で活用

目指すところ・・・

⇒ 誰一人取り残さない「個別最適化された学び」の確保

横浜では・・・

- ・ロイロノートスクールを積極的に活用 <https://n.loilo.tv/ja/>
- ・「どこでもスタディ」
- ・令和6年度から端末の持ち帰りがスタート。



外国につながる児童生徒にとって・・・

☆ より良く学ぶためのツールとして、端末を活用する

☆ 自分で学べる環境を整える

学習者用デジタル教科書ができること

学習者用デジタル教科書でできること

漢字のルビふり

文字の拡大

書き込んだものを
保存

デジタル教科書
への書き込み

音声読み上げ

ワークの機能を使ってできること

マイ黒板
本文抽出機能

大体の内容をた
しかめましょう。

関連の動画

挿絵の並び替え

ドリル・進出漢字

学習者用デジタル教科書を使った学習

国際教室の指導で効果的なツール	内容
「大体の内容をたしかめましょう」	<p><u>先行学習に活用</u></p> <ul style="list-style-type: none">・1週間に一度しか取り出し指導ができないときなどにおすすめ。・本文の内容の復習にも使えます。
ルビ振り・本文拡大	<p><u>ふりがなのオン/オフが簡単</u></p> <ul style="list-style-type: none">・単元が終わるころには、ふりがなをオフにして自分で成長を実感できる。
音声読み上げ	<ul style="list-style-type: none">・文字を読むのが苦手な児童にはおすすめ。・小単元は機械音声のため注意

学習者用デジタル教科書を使った学習

国際教室の指導で効果的なツール	内容
教科書書き込み・スタンプ等	<ul style="list-style-type: none">・登場人物の気持ちを視覚的に捉えたり、本文の内容・構成の把握。・スタンプを使い、誰が話したのかを視覚的に把握。
マイ黒板・抜き出し	<p><u>本文要約等に活用⇒思考を可視化する</u></p> <ul style="list-style-type: none">・デジタル教科書の本文をなぞるだけで、要約文が完成。・慣れるまでは、思うように抜き出せない。文の途中で抜き出してもOK。
教材文の内容を補足する写真や映像資料	<p>あまり馴染みのない内容も、動画を視聴することで、イメージがわいたり、興味を持ったりすることができる。</p> <p>⇒ <u>自分のペースで写真や動画を活用できる。</u></p>

Q&A

Q. 学習者用デジタル教科書を初めて使うときは？

A. 子どもたちは、とにかくたくさん触ってみたい。時間を決めて、自由に触ったり、先生と一緒に確認する。

「先生が話し始めると触らない」、「共有するときは一度机の中にしまう」などのルールをつくる。

Q&A

Q. ノートを書く時間が減りました。

A. デジタル教科書を使うことで、「書く」時間が減ったと感じました。マイ黒板等を使う時間は「思考の時間」と決めて、「書く時間」は別にしっかり時間を設けることを意識する。

・丁寧に「書く」時間はしっかり確保をしたい。

Q&A

Q. 「紙の教科書」は使いませんか？

A. 紙の教科書も並行して使っていました。

単元やその時間でデジタルと紙の教科書のどちらかが有効かを考えていました。

Q&A

Q. 国際教室にも投影用のモニターがあったほうがいいですか？

A. モニター（テレビ等）が置けるようであれば、あったほうがいいです。線を引いたり、挿絵の並べ替えをしたりしたものを、投影しながら共有することが有効です。

デジタル教科書を使った国語科授業の実際

4年生 国語科「ウナギのなぞを追って」

【国語科の目標】

・本文の内容を理解し、自分の気になった部分を抜き出し、リーフレットにまとめることができる。(児童生徒の実態に合った目標を設定する)

【日本語の目標】

・いつ、どのような出来事があったか理解し、自分の言葉で発表することができる。

(教科の目標を達成するために必要な日本語明確にする)

デジタル教科書を使った国語科授業の実際

【対象児童】

A児（中国）：小学校前に中国から来日。

B児（バングラデシュ）：日本生まれ。

C児（ペルー）：日本生まれ

【授業の流れ 全8時間】

1	単元のまとめに作成する紹介文を渡す相手を決める。⇒工夫①デジタル教科書を活用し、本文の大体を知る
2	要約文づくり① ⇒工夫②+デジタル教科書動画の活用
3	要約文づくり② ⇒工夫②+デジタル教科書動画の活用
4	ウナギの研究マップの作成 ⇒工夫③
5	自分の興味を持ったことに沿って大事な文章を抜き出す。在籍級で、ウナギの研究マップの発表
6	自分が興味を持ったことをデジタル教科書を使って紹介する。
7	デジタル教科書を利用して、紹介文をつくる ⇒工夫④
8	完成した紹介文（リーフレット）を在籍級で発表する。

ウナギのなぞを追って:授業の工夫②

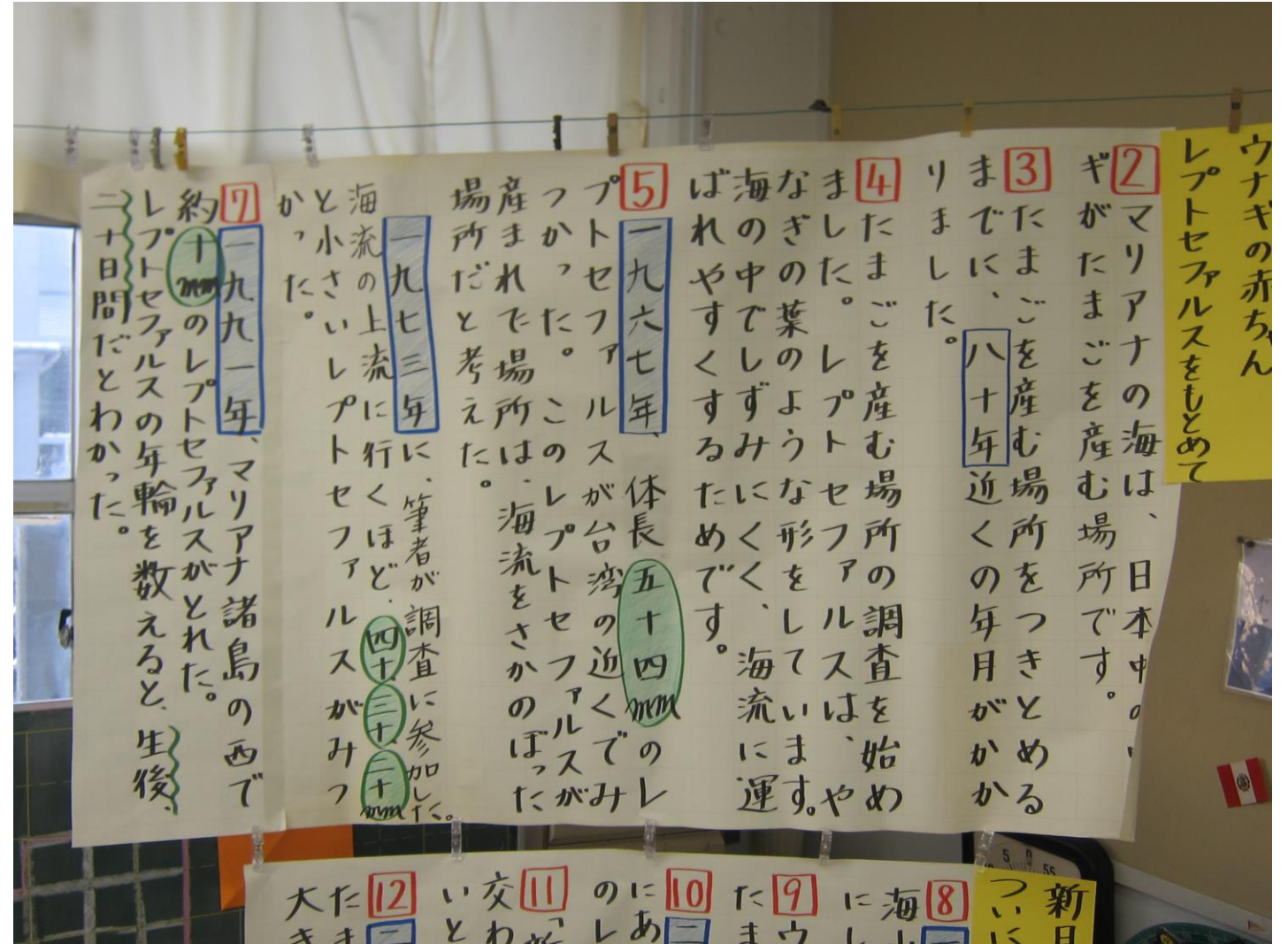
【段落ごとの要約文の作成】

デジタル教科書だけでは、学びを深めることができない・・・

・調査の年数 → 「いつ」

・何が見つかった
筆者のしたこと → 「出来事」

⇒ 一段落をできるだけ短い文で
まとめる



ウナギのなぞを追って:授業の工夫③

【ウナギの研究マップの作成】

理解したことを地図に表し、視覚化する。

・調査の年数と発見されたものを短冊にまとめる。

・話し合いをしながら、模造紙にまとめる。

⇒ **文章を視覚的にとらえる**



<デジタル教科書を活用して良かった点>

- ・単元の初めに大まかに内容理解ができ、その後の活動がスムーズになった。
- ・デジタル教科書の資料や動画を視聴し、ウナギに興味をもつことができた。
- ・デジタル教科書を使うことで、要約文作成の負担が減り、思考の時間が取れた

デジタル教科書を利用することで、児童は本文の内容をしっかりと理解し、紹介文(リーフレット)を完成させることができた。

⇒子どもたちの自信につながった

参 考

☆文部科学省

- ・令和3年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」研修動画 (YouTube)
- ・学習者用デジタル教科書実践事例集
- ★2021年追補版「児童一人一人に応じた設定と朗読、書き込みより文章の内容理解を支援 (日本語指導が必要な児童)」

☆「外国人の子どもへの学習支援」 齋藤ひろみ編著 金子書房

第4章 学校における取り組み

2小学校における国語科学習支援の取り組み

☆光村図書出版

https://2022digital.mitsumuratosho.co.jp/user/case_plan/inclusive/inclusive02/

